

バンコク都との高校生交流事業の業務委託に係る企画提案公募【質問と回答一覧】

番号	質問内容	回答
1	(1)仕様書P.1「3事業概要」に関しまして、「参加生徒は、アントレプレナーシップを学び、英語でのディスカッションやフィールドワーク等を通じて、共通の社会課題解決に向けたビジネスプランを考案し、発表する。」とございますが、本プログラムでは、ビジネスプランとしての完成度そのものよりも、社会課題の本質的な解決につながるビジネスプランを考案するプロセスを通じて、国際感覚やアントレプレナーシップを育むことを重視するという認識でよろしいでしょうか。 いずれも重要な要素であると認識しておりますが、限られたプログラム期間の中で、福岡県およびバンコク都として、特に重視したい観点や期待する成果がございましたら、ご教示いただけますと幸いです。	ご認識の通りです。 なお、最終発表会における最優秀賞の選定は計画していますが、本プログラムでは学生の自由な発想をビジネスプランに落とし込むプロセスを重視します。
2	(2)仕様書P.1「5 業務内容 ④ 選考及び決定」に関しまして、選考に関連する下記の業務についても受託者が実施する想定でしょうか。福岡県との役割分担がございましたら、ご教示いただけますと幸いです。 ・応募者への連絡および問い合わせ対応(選考日程等の案内、選考結果の通知など) ※上記の場合、受託者が管理するプログラム専用メールアドレスによる応募者との連絡を想定しております ・採択決定後のパスポート情報等の個人情報の収集・管理	選考時における応募者への連絡および問い合わせ対応（選考日程等の案内、選考結果の通知など）は県で実施します。 また、パスポート情報等の個人情報の収集、管理についても県で実施しますが、収集したパスポート情報をもとに受託者に航空券手配をしていただきます。 なお、選考の際は受託者に書面審査及び面接審査の審査員として参加いただきます。
3	(3)仕様書P.2「(2)事前研修の企画・運営」におきまして、「円滑な研修実施のため、バンコク都側事業者と講義内容等について事前の調整を行うこと。」とございますが、バンコク都側の運営事業者だけでなく、実際に講義を担当される講師の方々とも、必要に応じて直接コミュニケーションを取りながら企画・調整を進めることは可能でしょうか。 より効果的なプログラムを共同で設計するため、運営事業者との調整に加え、講師の方々とも連携できる体制を想定されているかについて、ご教示いただけますと幸いです。	可能です。 バンコク都側事業者が決定しましたら、オンラインミーティングを通じて、企画、調整を想定しています。
4	(4)仕様書P.3「(4)招へいプログラムの企画・運営」に関しまして、「2日目：北九州市内視察(貸切バス(終日))」を受託者が企画・運営するとございますが、北九州市内ということは固定という理解でよろしいでしょうか。	固定ではありません。 事業の趣旨に合う視察先であれば場所は問いません。